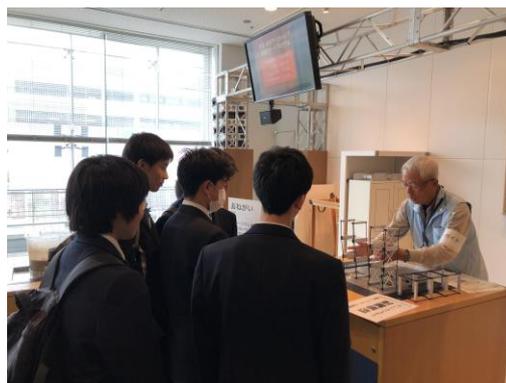


1年総合科学科 秋の校外研修

11月22日(木)、総合科学科1年生で校外研修に行きました。

今回の校外研修のテーマは『地震』ということで、兵庫県にある「人と防災未来センター」と「北淡震災記念公園」に行きました。

人と防災未来センターでは、最初に大型映像で「5:46の衝撃」を観覧し、大震災ホールで「このまちと生きる」というテーマの映像を観ました。その後、館内を自由に見学し、震災直後の悲惨な状況の写真や復興に向けての取り組みなどの見学をしました。フロアガイドの方に液状化現象や耐震構造の実験を見せてもらい、防災・減災に向けての様々な取り組みを学ぶことができました。



北淡震災記念公園に移動して昼食を食べ、語り部 米山正幸(こめやままさゆき)さんから阪神淡路大震災時の自身の体験をお話していただきました。地震が起きた瞬間の大きな揺れの衝撃や町の状況などを写真やジェスチャーを交えて語っていただき、地震というものがいかに恐ろしいものなのかを実感しました。大きな被害を出した阪神淡路大震災。大切な家族を失い、住む場所も奪われ悲しみに沈んでいるときに、近所の人やボランティアの人たちの助けがどれだけ救いになったかというお話もされていました。人の助け合いって大切なんだと改めて感じました。





近い将来、必ず来るといわれている南海トラフ地震。私たちは何かしらの対策をしておかなくてはなりません。今回の校外研修で学んだことを家族に伝え、もし地震が起こったらどうするのか？ということをもう一度話し合ってみてください。「自分の命は自分で守る。高校生なら家族も守れ。」米山正幸さんの言葉です。そのための準備をしておきましょう。